

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

時津町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長崎県西彼杵郡時津町

3 地域再生計画の区域

長崎県西彼杵郡時津町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、長崎市のベッドタウンとして人口が増加し、平成 22 年国勢調査では 30,110 人となり、はじめて 3 万人を突破しました。しかしながら、平成 26 年をピークに人口減少がはじまり、平成 27 年国勢調査では 29,804 人で前回から 300 人もの大幅減少となりました。RESASを使った分析では、大学進学や就職時に福岡や首都圏など、大都市への流出が主な要因で、若者の地元就職を促進するため、いかに雇用を創出するかが大きな課題となっています。

こうした課題に対応するため、地場産業の育成や新産業の創出への取り組みを推進し、若者の地元就職を促進するとともに、地方への新たな人の流れをつくるため、町の魅力向上に取り組み、移住、定住促進を図り、社会増につなげます。また、町民の結婚、出産、子育て等に対する希望を実現する環境をつくることで、自然増につなげます。さらに、若者から高齢者まで、誰もが活躍し、安心して暮らせる、時代に合ったまちづくりを推進するため、次に掲げる基本目標の達成を図ります。

基本目標 1 仕事を磨き活力あるまちを創る

基本目標 2 笑顔があふれ住み続けたいまちを創る

基本目標 3 若者の結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを創る

基本目標 4 時代に合ったまちを創る

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	起業事業所数(事業所)	18	20	基本目標1
	「町の産業振興」について満足と思う町民の割合(%)	30.6	33	
イ	年間のUIターン相談件数(件)	14	20	基本目標2
	「本町に住み続けたい」と思う町民の割合(%)	85.8	87.0	
ウ	婚活支援事業参加企業数(社)	2	10	基本目標3
	「子育てしやすい町」と思う町民の割合(%)	74.9	80.0	
エ	見守り協力事業所数(事業所)	35	50	基本目標4
	「住みよい」と思う町民の割合(%)	91.5	92.0	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

時津町まち・ひと・しごと創生事業

ア 仕事を磨き活力あるまちを創る事業

イ 笑顔があふれ住み続けたいまちを創る事業

ウ 若者の結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを創る事業

エ 時代に合ったまちを創る事業

② 事業の内容

ア 仕事を磨き活力あるまちを創る事業

新たな雇用の創出や安定した雇用の確保のため、地場産業の育成や新産業の創出への取り組みを推進し、若者の地元就職を促進します。

【具体的な事業】

- ・みかん、ぶどう優良品種更新事業
- ・ブランド生産対策事業 等

イ 笑顔があふれ住み続けたいまちを創る事業

地方への新たな人の流れをつくるため、町の魅力向上に取り組み、移住や定住の促進を図ります。

【具体的な事業】

- ・SNS等を活用した移住情報の発信
- ・UIターン・移住対策事業の推進 等

ウ 若者の結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを創る事業

若者が結婚・出産・子育てをしやすい環境づくりに取り組みます。

【具体的な事業】

- ・県や近隣市町村と連携した婚活支援事業の推進
- ・妊娠期から出産・育児期までの支援体制の充実 等

エ 時代に合ったまちを創る事業

高齢者が活躍し、誰もが安心して暮らせる、時代に合ったまちづくりを推進します。

【具体的な事業】

- ・高齢者の健康づくりに関する自主的なグループの育成、かつ活動の支援
- ・ウォーターフロント健康遊具教室 等

※ なお、詳細は「第2期時津町総合戦略」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に外部有識者による具体的な施策に関する効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに時津町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで